

## ベトナム情報レポート（2023年10月31日）

ベトナムビジネスサポートデスク  
（株式会社NCネットワーク）

### 【2023年第3四半期のベトナム経済指標】

ベトナム統計総局は、2023年第3四半期および1～9月期の経済指標を発表しました。それによると、2023年第3四半期のGDP成長率は前年同期比5.33%増で、第1四半期3.28%、第2四半期4.05%から更に回復傾向にあります。そのうち農林水産業は3.72%増、工業・建設業は5.19%増、サービス業は6.24%増でした。2023年1月～9月期のGDP成長率は前年同期比4.24%で、2011年以降の同時期のデータでは、2020年と2021年に次ぐ低水準でした。特に工業・建設業では依然として世界的不況の影響が残っています。2023年1月～9月期の売上は前年同期比1.65%増にとどまり、2011年以降の最低値を記録しました。一方、サービス業の売上は堅調で、宿泊・飲食が13.17%増、輸送・倉庫が8.66%増、卸売・小売が8.04%増と観光および消費生活の回復が伺えます。

2023年第3四半期の消費者物価指数（CPI）は前年同期比2.89%増で、1月～9月期では3.16%増でした。9月単月では前年同期比3.66%増と今年2月に次ぐ高い上昇率となりました。3ヶ月連続で物価上昇率が上がっており、国内のコメ価格の上昇やガソリン価格の値上げなどもあることから、今後年末に向けてさらなる物価上昇を心配する声も聞かれます。

2023年1月～9月期の輸出総額は2,596.7億米ドルで前年同期比8.2%減、輸入総額は2,379.9億米ドルで13.8%減、216.8億米ドルの貿易黒字となっています。2023年第3四半期の輸出で伸びた品目は野菜（前年同期比97.5%増）、コメ（56%増）、鉄鋼（30.6%増）などで、低調な品目は化学品（24.6%減）、縫製品・靴（20.8%減）、その他一般金属・製品（16.1%減）でした。輸入で伸びた品目はカシューナッツ（64.9%増）、医薬品（34.5%増）、肥料（33%増）、で、低調な品目は電話・関連部品（56.3%減）、原油（50.4%減）、自動車（38.3%減）となっています。

2023年1月～9月期（9月20日まで）の外国直接投資（FDI）の登録投資総額は202.1億米ドルで前年同期比7.7%増、実行投資総額は159.1億ドルとなり同2.2%増でした。実行投資総額はここ5年の1月～9月期の記録で最も高額となりました。

統計総局はこれまでのGDP成長率4.24%は高くはないが、世界的な不況を鑑みると評価できる数字であると述べました。ただし、第4四半期の見通しは依然として楽観視はできず、年初に設定した目標であるGDP成長率6.5%の達成は非常に大きな挑戦であるとしています。世界銀行は今年のベトナムの成長率予想を4.7%に下方修正しています。